

## 中国思想中国哲学専攻分野科目

授業科目	講義題目	単位	担当教員氏名	曜日・講時
中国思想特論Ⅰ	中国中世仏教の学術と実践	2	齋藤 智寛	前期 月曜日 3講時
中国思想特論Ⅱ	明末から清代中期に至る道教 (全真教)と士大夫知識人	2	森 由利亜	後期集中 その他 連講
中国思想史総合演習Ⅰ	中国思想研究上の諸問題1	2	齋藤 智寛	前期 金曜日 5講時
中国思想史総合演習Ⅱ	中国思想研究上の諸問題2	2	齋藤 智寛	後期 金曜日 5講時
中国思想文献研究演習Ⅰ	中国中世思想文献研究	2	齋藤 智寛	前期 月曜日 5講時
中国思想文献研究演習Ⅱ	『朱文公集』研究	2	齋藤 智寛	後期 月曜日 5講時

科目名：中国思想特論 I / Chinese Thought (Advanced Lecture) I

曜日・講時：前期 月曜日 3 講時

Semester : 1 学期 単位数 : 2

担当教員：齋藤 智寛

コード：LM11304, 科目ナンバリング：LGH-PHI610J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：中国中世仏教の学術と実践
2. Course Title (授業題目) : Scholarship and practice of Chinese medieval Buddhism
3. 授業の目的と概要：中国中世の仏教について、学術の形式や思想活動の場、信仰と実践、また史学や医学、文学などの文化全般との関わりに注意しながら考察する。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要) : In this course Chinese medieval Buddhism will be discussed, paying attention to their academic forms and sites of intellectual activity, rituals and practices, as well as their relationship to culture in general, including history, medicine and literature.
5. 学習の到達目標：中国中世における仏教の諸相について基本的な理解を得るとともに、思想史研究の視点・方法を了解する。
6. Learning Goals(学修の到達目標) : To gain a basic understanding of the various aspects of Chinese medieval Buddhism, and to understand the perspectives and methods of the study of the history of thought.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
  1. 導入
  2. 仏典翻訳と偽経、経録 1
  3. 仏典翻訳と偽経、経録 2
  4. 一切経の作成と伝承
  5. 注疏と語録の成立
  6. 仏教史学の諸相
  7. 山林仏教と禅宗の成立 1
  8. 山林仏教と禅宗の成立 2
  9. 具足戒と大乘戒
  10. 士大夫の仏教信仰 1
  11. 士大夫の仏教信仰 2
  12. 正統から逸脱した実践
  13. 異民族と仏教
  14. 女性にとっての仏教
  15. まとめ
8. 成績評価方法：

レポート (100%)
9. 教科書および参考書：

教科書は使用せず、プリントを配布する。参考書は講義中に紹介する。
10. 授業時間外学習：紹介された参考書や原典は出来るだけ読んでみることに。
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness  
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business  
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：

科目名：中国思想特論Ⅱ／ Chinese Thought (Advanced Lecture) II

曜日・講時：後期集中 その他 その他

Semester：2 学期 単位数：2

担当教員：森 由利亜

コード：LM98823, 科目ナンバリング：LGH-PHI611J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：明末から清代中期に至る道教（全真教）と士大夫知識人
2. Course Title (授業題目) : Daoism (Especially Complete Perfection School) and Literati from Late Ming to Mid-Qing China.
3. 授業の目的と概要：明末期から清朝中後期にかけて、道教の一部とされる全真教に「龍門派」と称する派が顕著な活動を示すようになる。そこには、当時の士大夫層が積極的に道教の信仰世界や倫理体系の中に参与しようとしていた動きを見て取ることができるのである。明末から清朝の乾隆・嘉慶年間にかけては、儒教的な文脈から思想の変化を検討することは盛んに行われてきた。また仏教と儒教の関係については荒木見悟の研究がよく知られている。しかし、この時代に道教と士大夫の関係についてはこれまでほとんど研究がなされていない。この授業では、ごく初歩的かつ部分的
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要) : From the late Ming to the late-mid-Qing period, a religious lineage called the "Longmen Lineage" became prominent in Quanzheng, or Complete Perfection School, which is one of the major traditions of Daoism in China. In this period, we can see the active participation of the literati of the time in the religious world and ethical system of Daoism. So far, concerning the time from the end of the Ming dynasty to the Qianlong and Jiaqing era of the Qing dynasty, it has been active to examine changes in thought from a Confucian context. The relationship between Buddhism and Confucianism is also well known namely in the work of Araki Kengo. However, very little research has been done on the relationship between Daoism and the literati during this period. In this class, I would like to discuss, albeit very rudimentary and partial, the relationship between Daoists and literati, centering on Quanzhen Daoism, from the end of the Ming dynasty to the period of Daoguang era in the Qing dynasty.
5. 学習の到達目標：受講生が、明末から清朝にかけての士大夫の宗教的関心の広がり的一端に興味をもち、従来とは異なる視野からこの時代の思想を考える糸口を見つけることを目指す。
6. Learning Goals (学修の到達目標) : The aim of the course is to interest students in some aspects of the spread of the religious interests of the literati during the late Ming and Qing dynasties, and to find clues for thinking about the ideas of this period from a different perspective than before.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
  - 第一回 概要の説明
  - 第二回 道教の基礎知識 (1)
  - 第三回 道教の基礎知識 (2)
  - 第四回 道教の基礎知識 (3)
  - 第五回 『道蔵』と蔣予蒲 (1755-1819) の『道蔵輯要』(1)
  - 第六回 『道蔵』と蔣予蒲 (1755-1819) の『道蔵輯要』(2)
  - 第七回 伍守陽 (1574-1643) の内丹法と全真教龍門派の自己認同 (1)
  - 第八回 伍守陽の内丹法と全真教龍門派の自己認同 (2)
  - 第九回 朱元育と潘易庵の内丹法と龍門派の自己認同 (1)
  - 第十回 朱元育と潘易庵の内丹法と龍門派の自己認同 (2)
  - 第十一回 王常月 (1594-1680?) の戒律改革と全真教龍門派 (1)
  - 第十二回 王常月の戒律改革と全真教龍門派 (2)
  - 第十三回 閔一得 (1735-1836) と龍門派の自己認同 (1)
  - 第十四回 閔一得 (1735-1836) と龍門派の自己認同 (2)
  - 第十五回 閔一得 (1735-1836) と龍門派の自己認同 (3)
8. 成績評価方法：
  - 平常点 (20 パーセント) レポート (80 パーセント)
9. 教科書および参考書：
  - 教科書はありません。参考書は授業時に紹介します。[We don't use text book. Recommended readings will be introduced in class]
10. 授業時間外学習：参考資料を事前配布した際には、それらに一通り目を通していただきます。[When reference materials are distributed in advance, you will be asked to read through them.]
11. 実務・実践的授業/Practical business
  - ※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practical business
  - 《実務・実践的授業/Practical business》
12. その他：

科目名：中国思想史総合演習 I / History of Chinese Thought(Integration Seminar)I

曜日・講時：前期 金曜日 5 講時

セメスター：1 学期 単位数：2

担当教員：齋藤 智寛

コード：LM15501, 科目ナンバリング：LGH-PHI613J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：中国思想研究上の諸問題 1
2. Course Title (授業題目)：Major Issues in the Research of Chinese Philosophy 1
3. 授業の目的と概要：受講者各自が中国思想、哲学についての研究テーマを選択して研究発表を行い、研究水準を向上させるとともに、明晰な表現力、質問に的確に答え、効果的に人を説得する能力も涵養する。さらには、他の受講生の発表への批評を通して、他者の意見を批判的に吟味する機会ともする。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：The aim of this course is to supply students with an opportunity of delivering their own essay on any philosophical topic they choose, and thereby to help them to enhance their level of research, to develop their ability to express their thought clearly, to respond to each question accurately, and to persuade others effectively. Students are also given a chance of thinking critically about other opinions, through commenting on essays of other students.
5. 学習の到達目標：みずからの研究テーマに関連する学術論文を作成するうえで必要な基礎的技術および能力を向上させる。
6. Learning Goals(学修の到達目標)：Students will develop their own fundamental skills that enable to summarize preceding research and establish their own research topic.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
  - 第 1 回：顔合わせと趣旨説明
  - 第 2 回：発表と討議 (1)
  - 第 3 回：発表と討議 (2)
  - 第 4 回：発表と討議 (3)
  - 第 5 回：発表と討議 (4)
  - 第 6 回：発表と討議 (5)
  - 第 7 回：発表と討議 (6)
  - 第 8 回：中間まとめ
  - 第 9 回：発表と討議 (7)
  - 第 10 回：発表と討議 (8)
  - 第 11 回：発表と討議 (9)
  - 第 12 回：発表と討議 (10)
  - 第 13 回：発表と討議 (11)
  - 第 14 回：発表と討議 (12)
  - 第 15 回：まとめ
8. 成績評価方法：
  - 発表内容 (50%)、討論への参加状況 (50%)
9. 教科書および参考書：
  - 教科書はとくに使用しない。受講者各自が事前に配布した発表資料によって授業をおこなう。
10. 授業時間外学習：報告担当者は、配付資料を前日から 1 時間前には参加者に配付するほか、特定の学術論文を紹介・批評する際には 1 週間前には当該論文を配布すること。ほかの参加者は、配付された資料や論文を読み、授業時における討論の準備を周到におこなう。
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
  - ※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness
  - 《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：

科目名：中国思想史総合演習Ⅱ／ History of Chinese Thought(Integration Seminar)Ⅱ

曜日・講時：後期 金曜日 5講時

セメスター：2学期 単位数：2

担当教員：齋藤 智寛

コード：LM25501, 科目ナンバリング：LGH-PHI614J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：中国思想研究上の諸問題 2

2. Course Title (授業題目)：Major Issues in the Research of Chinese Philosophy 2

3. 授業の目的と概要：前期での発表や討議にもとづいて、受講者各自が、それぞれの研究テーマにもとづく論文の草稿を作成して発表するとともに、受講者全員が、その発表にもとづいて自由に討論する。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：Based on the presentations and discussions in the former semester, each student will prepare and present a draft of a paper about their own research theme, and all students will discuss the paper.

5. 学習の到達目標：みずからの研究テーマに関連する学術論文を作成するうえで必要な基礎的技術および能力を向上させる。

6. Learning Goals (学修の到達目標)：Students will develop their own fundamental skills that enable to summarize preceding research and establish their own research topic.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

第1回：顔合わせと趣旨説明

第2回：発表と討議 (1)

第3回：発表と討議 (2)

第4回：発表と討議 (3)

第5回：発表と討議 (4)

第6回：発表と討議 (5)

第7回：発表と討議 (6)

第8回：中間まとめ

第9回：発表と討議 (7)

第10回：発表と討議 (8)

第11回：発表と討議 (9)

第12回：発表と討議 (10)

第13回：発表と討議 (11)

第14回：発表と討議 (12)

第15回：まとめ

8. 成績評価方法：

発表内容 (50%)、討論への参加状況 (50%)

9. 教科書および参考書：

教科書はとくに使用しない。受講者各自が事前に配布した発表資料によって授業をおこなう。

10. 授業時間外学習：報告担当者は、配付資料を前日から1時間前には参加者に配付するほか、特定の学術論文を紹介・批評する際には1週間前には当該論文を配布すること。ほかの参加者は、配付された資料や論文を読み、授業時における討論の準備を周到におこなう。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：

科目名：中国思想文献研究演習 I / Literature on Chinese Thought (Advanced Seminar) I

曜日・講時：前期 月曜日 5 講時

Semester : 1 学期 単位数 : 2

担当教員：齋藤 智寛

コード：LM11502, 科目ナンバリング：LGH-PHI615J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：中国中世思想文献研究
2. Course Title (授業題目) : A Study of Chinese Medieval Thought Literature
3. 授業の目的と概要：唐・孔穎達 (574-648) 等撰『礼記正義』礼運篇を会読する。各版本を参照し、阮元校勘記の成績を検証しながら、中国思想文献の精確な訳注を作成する能力を涵養するのが本演習の目的である。
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要) : This course is a reading of the chapter of The Conveyance of Rites (禮運), from the Right Meaning of the Ritual Records (禮記正義) edited by Kong Yingda (孔穎達) and other scholars at Tang period. The aim of the course is to cultivate the ability to produce accurate translations of Chinese thought literature, while paying attention to the different edition and examining the revision of Ruan Yuan (阮元).
5. 学習の到達目標：中国思想の原典資料を読解し、精確な日本語訳および思想史的視点からの訳注を作成できる。
6. Learning Goals (学修の到達目標) : To be able to read and understand original sources of Chinese thought and to prepare accurate Japanese translations and notes from a historical perspective.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
  - 1、導入
  - 2、『礼記正義』会読 1
  - 3、『礼記正義』会読 2
  - 4、『礼記正義』会読 3
  - 5、『礼記正義』会読 4
  - 6、『礼記正義』会読 5
  - 7、『礼記正義』会読 6
  - 8、『礼記正義』会読 7
  - 9、『礼記正義』会読 8
  - 10、『礼記正義』会読 9
  - 11、『礼記正義』会読 10
  - 12、『礼記正義』会読 11
  - 13、『礼記正義』会読 12
  - 14、『礼記正義』会読 13
  - 15、まとめ
8. 成績評価方法：

発表と討論での発言状況 (100%)
9. 教科書および参考書：

教科書は使用せず、教室でプリントを配布する。
10. 授業時間外学習：予習のほか、未解決箇所は授業後に調べて次回の討論に備えること。
11. 実務・実践的授業/Practical business  
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business  
《実務・実践的授業/Practical business》
12. その他：

科目名：中国思想文献研究演習Ⅱ／ Literature on Chinese Thought(Advanced Seminar)II

曜日・講時：後期 月曜日 5講時

セメスター：2学期 単位数：2

担当教員：齋藤 智寛

コード：LM21502, 科目ナンバリング：LGH-PHI616J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：『朱文公集』研究

2. Course Title (授業題目)：A Study of the Collected works of Zhu Wengong

3. 授業の目的と概要：南宋・朱熹（1130-1200）の文集『朱文公集』を選読する。朱熹の思想形成にも留意しながらその著作を読むことを通して、中国思想文献の精確な訳注を作成する能力を涵養するのが本演習の目的である。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：This course is designed to provide students with the opportunity to read the several works by Zhuxi (朱熹) which are recorded in the Collected works of Zhu Wengong (朱文公集). The aim of this course is to cultivate the ability to produce accurate translations of Chinese thought literature, reading Zhuxi's works paying attention to development of his thought.

5. 学習の到達目標：中国思想の原典資料を読解し、精確な日本語訳および思想史的視点からの訳注を作成できる。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：To be able to read and understand original sources of Chinese thought and to prepare accurate Japanese translations and notes from a historical perspective.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1、導入

2、『朱文公集』会読1

3、『朱文公集』会読2

4、『朱文公集』会読3

5、『朱文公集』会読4

6、『朱文公集』会読5

7、『朱文公集』会読6

8、『朱文公集』会読7

9、『朱文公集』会読8

10、『朱文公集』会読9

11、『朱文公集』会読10

12、『朱文公集』会読11

13、『朱文公集』会読12

14、『朱文公集』会読13

15、まとめ

8. 成績評価方法：

発表と討論での発言状況（100%）

9. 教科書および参考書：

教科書は使用せず、教室でプリントを配布する。

10. 授業時間外学習：予習のほか、未解決箇所は授業後に調べて次回の討論に備えること。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：